



きらりしはにかむコラム vol.23

歯医者さんで予防

シーラントについて知ろう!!

歯医者さんで行える予防できる処置の中にシーラントというものがあります。おそく聞いたことがあろうと実際にお子さんがやってみる方もいることでしょうか。シーラントとは、永久歯、乳歯の奥歯にみられる溝をふさぐむし歯予防法です。

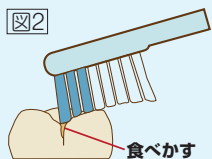
奥歯の溝は複雑な形をしており、毎日歯みがきをしていてもむし歯になってしまつてしまうことがあります。特に6歳臼歯と呼ばれる永久歯はとても複雑な形でむし歯になりやすい歯です。溝には色々なタイプがあつて、浅い溝、線の溝、細い溝、太い溝、線の様な溝、細い溝、太い溝などさまざまな形があります。(図1)

図1

溝タイプ	浅い溝	線の溝	細い溝	太い溝
横からみた図				
むし歯の危険性	低い	中程度	高い	特に高い

溝は細いほど歯ブラシの毛先が入りにくい状況になり図2のように歯ブラシの毛先が溝の奥まで届かないこともあります。細ければうまくみかけず、むし歯の危険性も高くなります。それから太い溝は常に食べかすが入りやすくなるのでむし歯の危険性が一番高いです。歯科医院に相談してみてください。

図2



食べかす

そうならないために溝をふさぐ方法がシーラントです。シーラントは歯科用のプラスチック剤で奥歯の凹凸を埋めることにより、むし歯を防ぐことが可能です。図3の色は様々あります。埋めたことがわかりやすいように赤色や黄色、反対に目立たないように無色や白色といったもの

があります。歯科医院によって色は違いますが効果は同じです。いずれにせよ、まず自分のお子さんがシーラントが必要な歯かどうかを歯科医院で相談しましょう。そしてシーラントを行った場合、シーラントはかむ面に施されるため、詰め物がすり減ったり、欠けてしまつこともあります。シーラントがきちんと歯についているか半年に一回は検診を受け、必要な時にはすぐにシーラントをやり直してもらいましょう。

歯をみがきやすくする!

シーラントを行うと凹凸の凸凹は平面に近い状態となり、歯みがきをするのがとても簡単になります。歯みがきをしやすい環境を作っておけることが大切なのです。しかしシーラントをしたから、むし歯にはならないわけではありません。シーラントで歯の溝を埋めても、歯と歯の間や、歯と歯ぐきの間からのむし歯は防げません。きちんと歯みがきを行う事や場合によってはデンタルフロスを使用してお口のケアを行う事が大切になります。

6歳前後で生えてくる6歳臼歯は一生使わなければならない歯です。そのため、お子さんのお口の健康を考え色んな予防処置の方法があることを知っておき、かかりつけの歯科医院へ受診することが大切です。お子さんの歯を守るのは、おうちの方の力が必要です。



一般社団法人 四日市歯科医師会

〒510-0093 四日市市本町9番12号
☎059-354-8512

四日市歯科医師会 検索

今回お話ししてくれた先生



歯科衛生士 松岡陽子



図3



シーラントする前

シーラントした後

RECRUIT GUIDE

もう一度、歯科業種に戻ってきませんか??みなさまがお仕事復帰できるようにお手伝いします。

歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士
歯科助手 歯科受付 など

・何年と歯科業界から遠ざかっていてまた復帰できるか不安・・・
・長い期間離れていたのでも今さら勉強できるか不安・・・
・働く前にどんな医院か見てみたい・・・ ご相談はお気軽にご連絡ください

